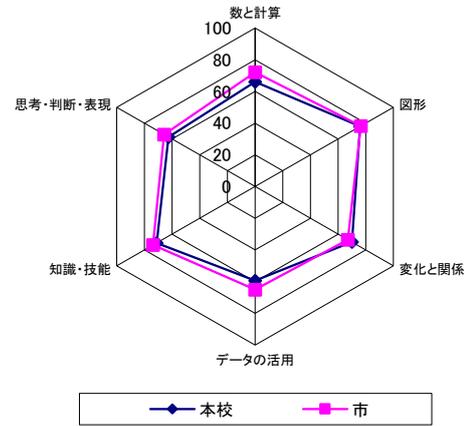


宇都宮市立東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|-----|----------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 数と計算 | 66.1 | 72.1 | 74.6 |
| | 図形 | 75.9 | 76.5 | 76.1 |
| | 変化と関係 | 70.0 | 67.1 | 59.7 |
| | データの活用 | 59.3 | 65.0 | 64.5 |
| 観点別 | 知識・技能 | 71.1 | 73.8 | 74.7 |
| | 思考・判断・表現 | 62.6 | 65.8 | 61.9 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|--------|---|--|
| 数と計算 | <p>平均正答率は、66.1%であり、市の平均を6ポイント下回っている。</p> <p>○小数のかけ算の計算や小数の文章問題を表した図の構造をとらえることはできている。</p> <p>●約分を伴う分数のかけ算やわり算では、市の平均を約20ポイント下回り、課題が見られる。</p> | <p>・約分の有無について確認させながら、分数の計算問題を繰り返し練習を行い、計算力が身に付くように指導していく。</p> |
| 図形 | <p>平均正答率は、75.9%であり、市の平均と同程度である。</p> <p>○平行四辺形の面積を求める問題や合同な三角形の作図は、市の平均を上回っている。</p> <p>●円の面積を求める式や複雑な立体の体積を求める問題、三角形の展開図を組み立てたときに重なる頂点選ぶ問題は、市の平均を4ポイント以上下回り、課題が見られる。</p> | <p>・円の面積の公式を確認し、繰り返し練習を行っていく。</p> <p>・いろいろな立体の体積を求める問題に繰り返し取り組ませたり、立体の展開図を実際に作図したり、組み立てたりする作業を通して、立体のイメージをもてるように指導を行っていく。</p> |
| 変化と関係 | <p>平均正答率は、70%であり、市の平均と同程度である。</p> <p>○単位量当たりの大きさを求めて、どちらのセットの方が1冊当たりの値段が安いのかを説明する問題では、正答率が73.3%で、市の平均を9.3ポイント上回っていた。</p> | <p>・今後も、日常生活と結び付けて比例の関係を捉えたり、生活の中で割合を活用したりできるように、身近な事象と関連付けて考える課題を設定し、応用力を養っていくことに努める。</p> |
| データの活用 | <p>平均正答率は、59.3%であり、市の平均を5.7ポイント下回っている。</p> <p>○ドットプロットから、最頻値を読み取る問題では、正答率が90.0%と市の平均を14ポイントも上回っている。</p> <p>●値に0がある分離量の平均を求める問題では、正答率が50.0%と市の平均を21ポイント下回る結果となった。</p> <p>●ヒストグラムの特徴をもとに、平均値付近の記録がいちばん多いわけではないことを説明する問いでは、正答率が16.7%で、市の平均を18.8ポイント下回っている。</p> | <p>・算数のみならず、理科や社会などで多様なデータに触れ、その内訳や示されている内容などを考える活動を増やす。また、その際に、グラフの特徴をまとめたり、話合わせたりするようなアウトプットの場を設定する。データの活用の指導に当たっては、一人一台端末を積極的に活用する。</p> |
| | | |
| | | |